

◆ 地区協議会報告



須賀 俊和さん

私はクラブ奉仕の部門に参加してきました。当クラブではクラブ管理委員会という名前で組織をされております。リーダーが茅ヶ崎湘南の神崎さん、サブリーダーが伊勢原の松下さん、その他3名が講師になって勉強会をしました。冒頭クラブ奉仕について神崎リーダーからお話を頂いた所、ロータリークラブとは何だという所から入って行きました。「ポールハリスは心の友を作りたいからロータリークラブを創ったとあります。ロータリークラブとは組織的な友情を持ったクラブです。クラブ奉仕はロータリーの重要な奉仕部門であり、所属するクラブを円滑に機能させるために奉仕活動に積極的に務めなさい。」具体的にはクラブの活性化を進める。拡大と増強。財団への寄付を増やす。指導者の育成ということにあります。クラブの活性化を進めるとい事は、日々楽しい例会作りをすることです。その後サブリーダーに変わり、具体的な話になってきました。まず退会防止についてですが、細則を変えることによって休会を1年間認める。そこで会費も減額することも可能だそうです。次にロータリーの綱領がロータリーの目的に変わったというお話がありました。財団寄付を各クラブで減額しないことをお願いしますということです。それと新会員のセミナーへの参加を推進してくださいということです。それからCLPプランとは、ということでお話があったのですが、まず強いクラブを作るためにやるのだと、それから長期プランについて非常に重要な話がありました。地区の補助金を受ける為には約3年越しになるそうです。そういった意味合いで3年位前からプランを立てて実際に補助金を頂いて、実行するという事です。そしてクラブの棚卸しを、奉仕活動の実績と評価を、予算の評価を、ということも話されました。次年度は副会長で露木会長の応援をさせていただく立場にありますが、皆様のご協力がなければ何も出来ませんのでよろしくお願い致します。



金山 慶昭さん

私は幹事部門に参加致しました。冒頭から地区の方針について、幹事の役割について、次年度地区スケジュールや地区予算についてガバナー補佐と会長幹事会の役割についてということでも5分ずつお話がありました。そのあと討論会があり4つの項目がありました。まず一つ目が、会長との役割分担をどのように考えているかということで、予算書と予定表を早めに作成しなさいということでした。2番目に会員の情報伝達をどのように行っていますかということで、問題点として地区からの情報が一般の会員に伝わっていないということのようです。会長幹事会に於いて議事録を取っていないグループもあるようです。第9グループは毎回次の会議までに出しますので問題はないと感じました。3番目にクラブの現状を把握していますかということで、先程もお話しましたが、クラブの棚卸表を作成しなさいということで、これはガバナー公式訪問で必要になりますので持っていない人は地区のホームページからダウンロードして作成して把握して下さいということでした。4番目に事務局の活用をどのように考えていますかということです。これは会員の減少に伴う対処をどのようにしているかということです。まず事務局の共同雇用ということで、当クラブは北クラブとやっていますし、ガバナー事務所も3名に減らしているという話もありました。それとあるクラブでは入会金を0、会費を最初の1年間は半額にしてやったという所がありました。意外と効果はあったそうです。しかしきつう

しく、今は半年だけ半額だそうです。それから若い人に入会して貰うという事で、会費を1年5か月間半額にしたというクラブもありました。うちのリーダーは横須賀北の石井さんという方でしたが、横須賀北は28万円ですが、約3年位かけて18万円にしていこうと動きを考えているらしく、食事も取らない時間帯にしようとか、会場を変えるとか、その代りにニコニコを増やしていこうなどやっているそうです。会費を下げて飲食は自己負担にしているクラブもあるようです。



露木 清勝さん

私の会長部門は菅原現ガバナーと相澤エレクトがリーダーということでお話をさせて頂きました。それぞれの部門で話された事は会長の部門でも話題になっておりました。まず公共イメージの向上というのは初めて出てくる言葉ですが、単純にマスコミにアピールをしていくという事だけではなく、小林さんがお話されたようにフランスのデザイナーやクリエイターを使って我々のイメージをうまく一般の人に伝えていくなどの努力が求められるとにあります。特にライオンズとかユニセフと混同して考えられ、どちらかと言えばライオンズのガ有名だというような一種の危機感が出ているのかなと思います。それから会員増強も10%増ということで、クラブのベースとなる活性化の一番の基本ですので、我々会長としては是非実現をしていきたいなと思っております。職業奉仕の話ですが、当クラブでは委員会がないのですが、これもロータリーの一番のベースとなる考えですので、私の年度で細則の見直しをしていければなと思います。国際奉仕の中村さんのお話の中で地区補助金に中クラブが出したという事で、これは第9グループで唯一なのですが、これは障害時の通園施設「つくしんぼ教室」の支援をするということで、つくしんぼ教室というのは障害時の疑いがある子供たちを支援することで、どういった事が目的かということ、地域の障害者を0にすることを目標にするのです。43万円を使って何をするのかということ、運動会の看板を作ったり、運動用具を寄附したり、菓子取り競争のお菓子を寄附したりするそうです。そこが目的ではなく、障害者を無くすという事がこの事業の目的なのです。ですので、新地区補助金なりグローバル補助金で一番重要視されるのが、何のためにやるのかという所なのです。そのためにこういうことをすると文章化し、提出しないと中々採用されないようです。我々のクラブも長期的な視野で皆さんに有効な事業を考えて貰って申請をしていければなと思っております。それから新世代、財団のポリオの問題も沢山話が出ておりました。特にEnd Polio Nowというのは全大会で森バスターガバナーが話をされており、あと3か国、数百人の患者がいるだけなので。それがなくなるのはあと一息だということです。これもロータリーがこれに取組んで25年以上の歳月が経っているそうです。一つの事業を完成するには1、2年では難しいのです。あと、一番私を感じた事は、会長部門でとにかくクラブの規模が皆違うのです。一番大きい所は横須賀クラブで110名を超えているそうですが、小さい所は10人足らずの所が5クラブ位あります。そういうクラブが一緒になって会長部門で研修を受けても全く見ている物が違うように感じました。いずれにしても7月からスタートしますので、是非皆様のご協力を最後までよろしくお願い致します。